

平成25年度

# 農業振興公社ニュース

第21号

## 平成25年度「みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」がスタート！

(平成25年8月20日(火):公社主催)

公社は、6次産業化など経営の多角化を目指す農林漁業者及び6次産業化等に取り組む農林漁業者を支援する人材育成に必要な知識や技術修得のため「みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」の開講式を8月20日(火)に宮崎県立図書館2階研修ホールにて行いました。

開講式では、県内から公募した受講生46名(グローバル農業法人育成コース:27名、6次化推進プロデューサー育成コース:19名)をはじめ、国、県、市町の関係者約80名の出席のもと、当公社の宮協理事長が主催者の立場で「6次産業化は儲かる農業の柱の一つであるが、設備投資や販路開拓などの経営リスクも有る、それを乗り越える多くの知識をこの塾で身につけ、それぞれの6次産業化を目指して欲しい」との挨拶のあと、林九州農政局宮崎地域センター長と緒方宮崎県農政水産部長より激励の言葉をいただきました。

受講生を代表してグローバル農業法人育成コースの佐藤浩さん(高千穂町)が「生産するだけの1次産業から脱却し、2次産業、3次産業を取り入れた、競争・成長する6次産業を目指したい」、6次化推進プロデューサー育成コースの長友慶徳さん(宮崎市)が「1次産業の現状や課題をしっかりと学び、1次産業者の目指す夢を実現する手助けを行いたい」と決意を述べ、11月1日までの原則週1回の塾がスタートしました。

開講式後、講義が行われ県外からの著名な講師の講義をはじめ、「みやざきフードビジネス振興構想」では河野宮崎県知事からのサプライズ講義もあり、受講生は熱心に聴講していました。



開講式での受講生代表挨拶  
グローバル農業法人育成コースの佐藤 浩さん



河野県知事によるサプライズ講義  
「みやざきフードビジネス振興構想」について

### 6次産業化チャレンジコーディネーターの紹介

公社では、6次産業化にチャレンジしようと考えている農林漁業者や農業法人の皆様を支援するため、8月から河辺久美さんを「6次産業化チャレンジコーディネーター」として採用しました。チャレンジ塾の企画・運営を担当し、農林漁業者の6次産業化による付加価値の高い農林水産物の加工・販売に向けた取組に対して支援を行ってまいります。よろしくお願ひします。



チャレンジコーディネーター  
河辺 久美さん

【新農業支援課】

みやざき6ジカ

## 「はばたけ都城！6次産業化推進大会」が開催される！

(平成25年8月9日(金)：公社後援)

都城市は、地域経済の活性化や振興を図る上で、産業間の垣根を越えて6次産業化に関する意識の醸成や意欲の向上を図るために、8月9日(金)、都城市総合文化ホールに市内外の農林畜産業者や関係機関・団体等約400名を参集して標記大会を開催しました。

大会では第1部の基調講演において、講師に皆川芳嗣農林水産事務次官を迎え「地域資源を活かした経済活性化のススメ～6次産業化を動力源として～」と題して、今後の儲かる為の攻めの農林水産業政策や6次産業化の推進について国の方向性が示されました。

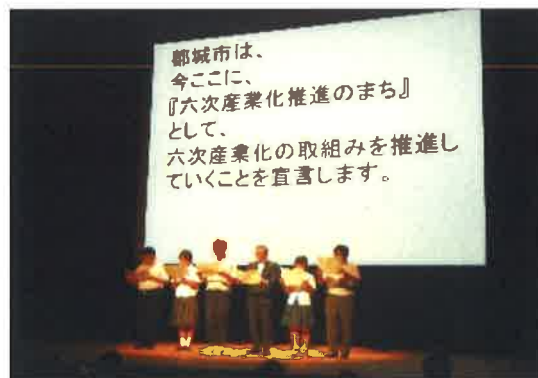
第2部のパネルディスカッションにおいては、福田九州大学大学院教授のコーディネートののもと、パネリストに皆川農林水産事務次官、河野宮崎県知事、池田都城市長、新森JA都城組合長、高峰みやざき6次産業化サポーターを迎え、国や県の6次産業化への方針や施策、都城市での地域の取組や一次産業者の課題、6次産業化へのポイント等、6次産業化を目指す一次産業者や連携する食品事業者及び関係機関・団体に向けた力強いメッセージが発信されました。

第3部では、池田都城市長と市内の農業、商業、工業高校生の各代表と6次産業化を目指す農業者の6人が力強く「六次産業化推進宣言」を行い、大会の幕を閉じました。

【新農業支援課】



パネルディスカッション



池田市長と各代表5名による  
「都城市6次産業化推進宣言」

## 平成25年度農地利用円滑化団体等連絡協議会担当者研修会を開催しました。

8月26日～27日に平成25年度農地利用円滑化団体等連絡協議会担当者研修会を西都市に於いて開催しました。

26日は、西都市のホテルプリムローズで、円滑化事業に関連する「人・農地プラン」、農地保有合理化事業、円滑化団体が実施する農地利用集積円滑化事業等の基礎的な研修を中心に行われ、また実際の集積事例として、JA延岡から延岡市須美江地区の事例、尾鈴農業公社から都農地区の事例が紹介されました。

27日は現地研修が行われ、「農事組合法人『吉田KOUKU』」さんと、「農事組合法人『久米田』」さんの2法人で研修させて頂きました。

新しく担当となった方もおられ、最新の農地中間管理機構関連の情報も交えての研修会でもあり、みなさん真剣に研修を受けられていました。

【農地課】



研修状況



農事組合法人での研修

## お知らせ

## 平成25年度 新規就農・農業就職相談会を開催します。

当公社や関係機関・団体の担当者が、希望者に対して、新規就農の手順、農作業体験等の短期研修や長期研修、農地やハウス・機械などの取得方法のほか、他産業からの農業参入の方法などについて、個別に相談・説明を行います。また、当日は園芸から畜産まで色々な農業法人も参加して頂き会社説明を行います。

自営就農や農業法人への就職をお考えの方は、ぜひご参加ください。予約は不要です。お気軽にお越しください。

駐車場は会場前にありますが、当日、近くの楠並木通りで朝市が開催されるため、県庁前は車両通行止めとなります。お車でお越しの際はご注意ください。

- 1 日時 平成25年10月6日(日) 10時～15時まで(受付は9時30分から)
- 2 場所 宮崎県職員健康プラザ 宮崎市旭1-2-1
- 3 主な相談コーナー
- ・総合相談
  - ・青年就農給付金
  - ・各農業法人
  - ・市町村
  - ・JA
  - ・みやざき農業実践塾
  - ・ハローワーク
  - ・農地
  - ・ハウス、農機レンタル等
- 詳しくは当公社ホームページをご覧ください。 <http://www.mnk.or.jp/>



平成24年度の相談会の様子



会場地図

## 青年就農給付金事業(準備型)の第2回募集が始まりました(9/9~)

昨年度から、就農前の研修段階及び就農初期段階の青年に対して、年間150万円を給付する青年就農給付金事業がスタートしましたが、9月9日から研修段階の準備型について、今年度2回目の募集が始まりました。

## 1 準備型とは(給付期間)

就農に向けて、県の農業大学校等の農業経営者育成教育機関等(先進農家等含む)で研修を受ける者に対して給付金を給付する事業(最長2年間)

## 2 給付対象者の要件等

- ① 就農予定年齢が、原則45歳未満で農業経営者となる強い意欲を有していること
- ② 県が認める研修機関、先進農家又は先進農業法人で研修を受けること
- ③ 研修期間が概ね1年かつ概ね1,200時間以上であること
- ④ 研修終了後1年以内に独立自営就農又は雇用就農すること

## 3 募集期間及び問い合わせ先 平成25年9月9日~10月23日

- ・宮崎県地域農業推進課 担い手企画担当 (0985-26-7126)
- ・宮崎県農業振興公社 担い手支援課 (0985-51-2011)

【担い手支援課】

## 公社所有の口蹄疫埋却地の再生整備が始まりました。

公社所有の埋却地の再生整備工事が、西都市下三財で始まりました。

公社所有の埋却地（52ヶ所：38.9ha）は、口蹄疫発生の折、迅速な防疫作業を進めるため、市町の要請を受け、緊急的な措置として、国の農地保有合理化事業を活用し公社が取得したものです。3年間の発掘禁止期間が解除された今年度より、再生整備を進め売り渡していくことにしています。

25年度には、西都市であと5カ所、日向市で1カ所、高鍋町で3カ所、新富町で4カ所、川南町で4カ所、都農町で11カ所を整備する予定です。

整備が終われば、すぐに売り渡し可能な状態となります。売り渡し等、詳細については、農地の所在する市町の農業委員会または、公社農地課にお問い合わせください。

優良な農地を多数そろえております。よろしくお願ひします。

【農地課】



【再生整備開始!!】優良農地へ（西都市下三財）H25.9.6  
※石礫を畑の下層に入れ込み表土50cm以上を確保します。

【再生整備完了!!】（西都市下三財）H25.9.19

## 行事予定

10/ 1(火)	チャレンジ塾	(宮崎市)	新農業支援課
10/ 2(水)	6次産業化地域相談会	(中部、西諸県、児湯 各普及センター)	新農業支援課
10/ 6(日)	就農相談会	(宮崎県職員健康プラザ)	担い手支援課
10/ 8(火)	チャレンジ塾	(宮崎市)	新農業支援課
10/ 9(水)	6次産業化地域相談会	(南那珂、北諸県、東臼杵北部 各普及センター)	新農業支援課
10/15(火)	チャレンジ塾	(宮崎市)	新農業支援課
10/18(金)	チャレンジ塾	(県内)	新農業支援課
10/19(土)	宮崎県移住相談会	(東京都)	担い手支援課
10/22(火)	チャレンジ塾	(宮崎市)	新農業支援課
10/23(水)	6次産業化地域相談会	(東臼杵南部、西臼杵 各普及センター)	新農業支援課
10/26(土)	新・農業人フェア2013	(東京都)	担い手支援課
11/ 1(金)	チャレンジ塾閉講式	(宮崎市)	新農業支援課
11/ 2(土)	宮崎県移住相談会	(大阪市)	担い手支援課
11/ 6(水)	6次産業化地域相談会	(中部、西諸県、児湯 各普及センター)	新農業支援課
11/13(水)	6次産業化地域相談会	(南那珂、北諸県、東臼杵 各普及センター)	新農業支援課
11/27(水)	6次産業化地域相談会	(東臼杵南部、西臼杵 各普及センター)	新農業支援課

## 発行

公益社団法人 宮崎県農業振興公社 〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14

TEL (0985) 51-2011 FAX (0985) 51-8006 <http://www.mnk.or.jp/>